

平成 27 年 8 月 3 日

各 位

会社名 株式会社デイトナ  
 代表者 代表取締役社長 鈴木 紳一郎  
 (JASDAQ・コード 7228)  
 問合せ先 取締役管理部長 中嶋 哲司  
 電話 0538-84-2200

第 2 四半期累計期間の業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 13 日付当社「平成 26 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました平成 27 年 12 月期(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)の第 2 四半期累計期間の業績予想と実績の差異について下記のとおりお知らせします。

記

(連結)

平成 27 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績との差異(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	2,921	63	55	32	円 銭 15.44
今回実績(B)	2,784	139	139	83	39.83
増減額(B-A)	▲136	76	83	51	
増減率	▲4.7%	120.6%	149.7%	157.9%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	2,778	132	129	73	34.86

(個別)

平成 27 年 12 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値と実績との差異(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	1,950	69	44	円 銭 21.37
今回実績(B)	1,983	185	124	59.03
増減額(B-A)	32	116	79	
増減率	1.7%	169.3%	176.2%	

(差異の理由)

連結業績につきましては、売上高について国内拠点卸売事業及び海外拠点卸売事業が前年を上回りましたが、小売事業では前年割れとなったことにより、当初予想を4.7%下回る27億84百万円となりました。利益面では、国内拠点卸売事業で上半期に予定していた施設修繕の土木工事、Webシステムの構築費用他、計60百万円ほどが遅れたことなどにより、営業利益1億39百万円、経常利益1億39百万円、四半期純利益83百万円となりました。

個別業績につきましては、売上高はほぼ予想通りとなりましたが、前述した土木工事等、費用の発生が遅れたことにより、予想を大きく上回る結果となりました。

なお、通期業績については、前述の費用の発生などを予定しておりますので、現段階では修正はありません。第3四半期以降の状況を見ながら、必要により修正発表を検討してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上